

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
コンサート・イベント科											
音楽ビジネス・マネジメント1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	本多功一			実務 経験	有	職種	舞台監督、コンサート制作				
授業概要											
エンタテインメント事業に就職をして、そこで活躍できるための情報と考え方を提示していく。授業では、この場合はどうしたらよいのかというケーススタディを、実例を使って自分の思考を生み出し、他の方策を知ることによって異なる発想を手に入れていくように進めていく。業種規模が小さく関連業種が共同で制作をしていくケースも多いため、得た知識を形を変えながら繰り返し提示し、理解を図る。											
到達目標											
目的を実現するために、点で得た知識をつなぎ合わせて理解していくこと、各回の冒頭にある要旨の説明に対してなんとなく理解している内容と対比して解決していくこと、今まで得た知識に毎回の知識を重ねていくことで3Dのように立体的に理解をしていくこと、などを目標とする。毎回細かい指示を出す、その指摘を次回までに修正し、また対峙した見解があれば自分の考えとして述べることも目標としていく。											
授業方法											
エンタテインメント産業での業種を理解していくことは、卒業後の仕事内容をイメージしながら取り組むことが大事である。科目の目的を毎回色々な角度からアプローチしていく。音楽産業を含めた社会全体としての必須になる対応なども良い癖として体得していく。個性やオリジナリティ、アイデンティティなどで主張や特徴はアーティストだけのものではない。アーティストとの共同制作者であるスタッフも同様の意識が持てるようになる											
成績評価方法											
授業目的を反映した試験により点数により評価をする。単元時に実施する課題の内容、取り組み方、丁寧な表記、正確な文字を評価する。											
履修上の注意											
時間意識を強く持ち、授業開始時には着席して、ノートが開かれシャープペンの芯が出ている状態でスタートする。わからない事柄や言葉は記録し、その日のうちに解消する。自分の意見、発想、アイデンティティを持つには経験と時間、数多くの引き出しを得ることが重要である。そのためにはよく考えるということを意識して授業に取り組むことが大切である。各自の知的好奇心を持って、自分なりの考察を試みることが重要である。											
教科書教材											
必要に応じて資料を配布する。毎回前回講義のまとめを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	音楽産業の概要について1：音楽産業の業種と職種をチャート図で全体像を把握し、業務と金銭のつながりを理解する										
第2回	音楽産業の概要について2：プロダクションの関連業務の理解し、給与と報酬の違いなどを理解する										
第3回	プロダクション機能1：具体的なプロダクション業務を理解し、営業・宣伝・制作を理解する										

第4回	記憶とイメージ：印象に残すプロモーションを考察し、記憶してもらうための手法を考察する
第5回	発想法：アイデアを生み出す、多くの視座を得る一つとしての発想法を理解する
第6回	ROCKについて：音楽産業の中心にあるROCKという音楽とその背景について理解する
第7回	安全について：安全第一ということを、各自考え考察する
第8回	プロダクション機能2：宣伝について、メディア機能と特色を理解して媒体全般の基礎知識を理解する
第9回	プロダクション機能3：消費者行動と費用対効果を考え、紙・波媒体の効果的な宣伝を理解する
第10回	基本機材について：音楽の成り立ちを機材・楽器の変遷から知り、スタンダードな機材を理解する
第11回	構成譜を作成する：音符を使わない楽曲の構成を理解する
第12回	表方・裏方：舞台端で分ける歌もの・踊りもののコンサート・スタッフの業務を理解する
第13回	コンサートの内側：タイムテーブルから裏方業務とその関係性を理解する
第14回	コンサートの外側：コンセプトから企画、目的から目標を形にしていく過程を理解する
第15回	前期のまとめ：1～14回までの総括と、夏季休暇中の課題の解説（レポート課題）